

熊野白浜リゾート空港の賑わい創出 ～ 飛行機に乗らなくても、毎日行きたくなる空の広場へ～

熊野白浜リゾート空港は、紀伊半島の空の玄関口であり、空港周辺地域は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」や豊富な温泉、美しい自然などの地域資源が数多く存在している。現在、1日3往復6便の白浜＝羽田便（定期便）が運航しているが、国内定期便が運航していない時間帯における賑わいが不足している。また、国際線ターミナルについては、チャーター便運航時に活用されているものの、国際定期便がないため利用頻度が著しく低い施設となっている。

空港利用者の利便性をさらに向上させるとともに、国内外の活力を取り込んだ地域の発展を図るため、空港における「一日中絶えない賑わい」の創出について、空港利用者にとどまらず地元住民や観光客も自然と集いたくなるような取り組みを含め、幅広い視点からのご提言をお願いします。

①時間の活用

「空港の未活用時間」に着目し、新たな価値を創出する。航空機の発着がない時間帯であっても、人々が空港を訪れたくなる「目的」について議論する。

②空間の活用

ロビーラウンジや国際定期便がない期間の国際ターミナルを「地域の広場」や「イベント拠点」としてどのように活用するか議論する。

③空港を「地域の中心」へ

旅行者に限らず、地元住民や観光客が日常的に空港へ足を運ぶ“目的地”となるための「魅力」について議論する。